

リエントリー（再出場）について（通知）

標記の件につきまして、1月8日開催の第1回常任理事会にて、下記の通り取り扱いを改訂致しましたので、通知します。本件については、できるだけ多くの選手に出場する機会を増やすことを目的としていますので、ご対応いただきますようお願い致します。

記

■リエントリー（再出場）について

できるだけ多くの選手に出場する機会を増やすことを目的として、先発メンバーは一旦試合から退いても一度に限り再出場ができるものとする。ただし、再出場する場合は、元の打順に戻らなければならない。この場合、守備位置は変更しても構わない。

- ① リエントリー制度を使用する場合、必ず選手交代時に監督が球審に申告する。
- ② 投手の障害リスクを高めるような再登板を推奨しない。
- ③ 登録選手全選手の出場（怪我人を除く）を推奨する。
- ④ 複数の交代選手が使われる場合でも、交代した先発選手の打順を変更することのないよう注意する。
- ⑤ 投手・捕手が再び投手か捕手に戻ることは障害予防を考慮し推奨しない。

【リエントリーに関する違反】

以下の場合には違反となる

- ① 先発メンバー以外の選手が再出場した時
- ② 再出場選手が元の打順以外の打順で出場した時
- ③ 再出場した選手が退いた後、3度目の出場をした時

【リエントリーに関する違反が判明した場合の措置】

リエントリーに関する違反は、相手チームから審判にアピールがあった時に以下の措置を取る。

- ・違反者は正しい交代者と交代する。
 - ・守備側の選手に違反が判明した時
- ① 次の投球動作に入る前は、攻撃側の監督にプレイの結果を生かすか、（打撃完了前のボールカウントで）打ち直しをするかの選択権が与えられる。
 - ② 次の投球動作に入った後は、すべて有効となる。
 - ・攻撃側の選手に違反が判明した時
 - ① 打撃完了前に判明した時は、正しい交代者がそのカウントを引き継ぐ（それまでのカウントは有効である）。
 - ② 打撃完了後、次の投球動作に入る前は打撃による全てのプレイは無効で、違反者はアウトになる。ただし、違反判明前のアウトは取り消さない。
 - ③ 打撃完了後、次の動作に入った後は、それまでの全てのプレイは有効である。

【適応大会】

本件は上部大会が無い大会のみに適用する。

以上